

(大塚委員からのコメント)

まだデータを集約中なのですが、今の時点でのコメントをお送りします。

提言の根拠の一つとして諸外国の方針が挙げられています。

その中で、ベルギーは2025年に全廃となっております。

年まで決めての全廃は3カ国ですが、ベルギーに関しては客員教授をしている関係から実際の事情にやや通じております。2025年の全廃は The phase-out of the use of nuclear energy という事で2003年に成立した法律に書かれています。しかし、実際には全廃ができない状況にあることは誰もが知っています。全廃へ向けての準備は何もしていないと聞いています。実際、この冬の厳しい寒波でエネルギー供給に余裕がなくなり緊急対応がなされたと聞いています。

一方では、現段階では原発全廃の方針の転換は政治的に封印されており、2025年の期限ぎりぎりに何らかの処置をして、少なくともその時には全廃はしない、というのが大方の見方とのことです。日本学術会議が提言を出すに当って、実情を調べる事無しに根拠とした、となりますとその学術的権威にも関わりますので、ご留意いただき、拙速とならないようにお願いいたします。

大塚孝治